

1 令和5年度決算の概要

- 水道事業は、供給水量の増加による給水収益の増加及び他会計補助金の増加により、前年度より収益が増加となったが除却費が増加したことによる資産減耗費の増となり、前年度に比べ2億53百万円の減益となったものの、14億93百万円の純利益を計上した。
- 工業用水道事業は、燃料費調整額が下がったことによる動力費費用の減少等により、維持管理費が減少したほか他会計補助金の増加のため、前年度に比べ4億44百万円の増益となり、25億62百万円の純利益を計上した。
- 地域振興事業は、土地分譲による土地売却に伴い土地売却原価費用が増加したが、土地売却収益が大幅な増加であったことから、純利益は前年度に比べ69億52百万円増益となり、69億16百万円を計上した。

(単位：百万円)

2 損益の状況

(1) 水道事業

	R 5年度	R 4年度	増減額	主な増減理由
経常利益	1,493	1,670	△ 177	他会計補助金の増、資産減耗費の増、原水及び浄水費の増
特別損益	0	76	△ 76	その他特別利益の減
当年度純利益	1,493	1,746	△ 253	

(2) 工業用水道事業

	R 5年度	R 4年度	増減額	主な増減理由
経常利益	2,561	2,091	470	他会計補助金の増、原水及び浄水費の増
特別損益	1	27	△ 26	用地売却損の増
当年度純利益	2,562	2,118	444	

(3) 地域振興事業

	R 5年度	R 4年度	増減額	主な増減理由
経常利益	6,916	△ 36	6,952	土地売却収益の増、土地売却原価の増
特別損益	-	-	-	
当年度純利益	6,916	△ 36	6,952	

(単位：百万円)

3 資産、負債及び資本の状況

(1) 水道事業

	R 5年度	R 4年度	増減額	主な増減理由
資産	285,550	286,479	△ 929	固定資産の減
負債	120,944	124,113	△ 3,169	企業債の減、繰延収益の減
資本	164,606	162,366	2,240	資本金の増

※負債のうち9億31百万円は、他会計が負担すると見込まれる額である。

(2) 工業用水道事業

	R 5年度	R 4年度	増減額	主な増減理由
資産	195,181	193,966	1,215	現金・預金の増
負債	73,162	74,508	△ 1,346	企業債の減
資本	122,019	119,458	2,561	資本金の増

(3) 地域振興事業

	R 5年度	R 4年度	増減額	主な増減理由
資産	29,540	19,591	9,949	現金・預金の増
負債	20,985	17,951	3,034	流動負債の増
資本	8,555	1,640	6,915	利益剰余金の増

(単位：百万円)

4 キャッシュ・フローの状況

	水道事業	工業用水道事業	地域振興事業
期首残高	23,656	16,828	1,581
業務活動によるCF	7,060	7,109	14,718
投資活動によるCF	△ 5,962	△ 2,254	0
財務活動によるCF	△ 893	△ 1,084	△ 241
期末残高	23,861	20,599	16,058